

設計条件

この課題は、地方都市の市街地において、子育てをする人を対象とした職業安定施設と保育所を計画するものである。この施設は、核家族化や女性の社会進出・就労の拡大に伴った近年の子育て環境の変化に対応することと「仕事と子育ての両立支援」を目的としたものである。

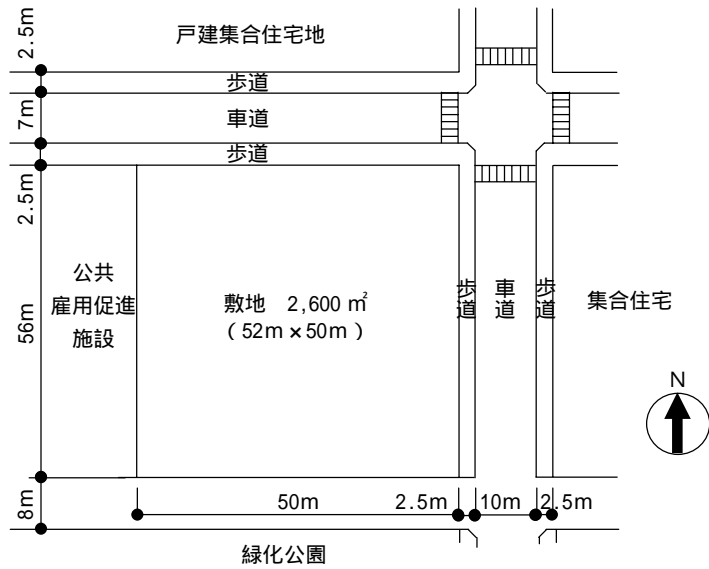
計画に当たっては、特に次のことが求められている。

敷地周辺の環境に配慮した建築物を計画するとともに、快適な居住空間を確保した計画とする。

保育施設部門と職業安定施設部門とを適切にゾーニングした計画とするとともに、各部門の動線に配慮した計画とする。

1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
北側 道路（幅員 12m）を挟んで、戸建住宅地がある。
東側 道路（幅員 15m）を挟んで、集合住宅がある。
南側 道路（幅員 8m）を挟んで、緑化公園がある。
西側 公共の雇用促進施設がある。
- 敷地は、平たんで、道路及び隣地との高低差はないものとする。
- 敷地は、第二種住居地域及び準防火地域に指定されている。また、建ぺい率の限度は70%（特定行政庁が指定した角地における加算を含む。）、容積率の限度は200%である。なお、日影についての特別の配慮はしなくてよい。
- 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- 地盤は良好である。
- 気候は温暖で、積雪についての特別の配慮はしなくてよい。



2. 建築物

- ラーメン構造による鉄筋コンクリート造（一部を鉄骨造としてもよい。）地下1階、地上2階建とする。
- 地階を除く床面積の合計は、2,100㎡以上、2,500㎡以下とする。この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段等は、床面積に算入しないものとする。
- 不特定多数の者が日常的に利用する階段及びスロープについては、次のとおりとする。
階段
イ．幅は、内法を 1.5m 以上とする。
ロ．けあげの寸法は、16cm 以下とする。
ハ．踏面の寸法は、30cm 以上とする。
スロープ
イ．幅は、内法を 1.5m 以上とする。
ロ．勾配は、1/12 以下とする 0
- 設備については、次のとおりとする。
空気調和設備は、単一ダクト方式と個別方式とを併用する。
冷暖房、給湯の熱源は電力とする。
エレベーターは、来館者用として乗用 1 基（機械室レス・13 人乗、かごの床面積は 2.09 ㎡以上）を設ける。

3. その他の施設

- 保育所の屋外施設は、次のとおり計画する。
敷地内と敷地外の相互の幼児動線を明確に区切り、幼児の安全に配慮する。また、2歳～5歳児の日常の受入れは園庭を使用する。
2歳児から年長児が使用する園庭は330㎡以上とし日当りに配慮し、砂場、鉄棒、ジャングルジムのついたすべり台、ブランコを設置する。
0歳児から1歳児の外気浴用のスペースを計画する。
駐車場は地上に平面駐車とし、園バス用2台分（1台あたり2m×5m程度）と、サービス用や救急車などの駐車スペースを1台分の計3台を計画する。
駐輪場15台分（1台あたり0.5m×2m程度）を設ける
- 職業安定施設の屋外施設は、次のとおり計画する。
駐車場は地上に平面駐車とし、身障者用を1台、サービス用として1台分を設ける。来館者用及び職員用の駐車場については、隣接の公共雇用促進施設の駐車場を利用するものとし、考慮しなくてよい。
駐輪場25台分（1台あたり0.5m×2m程度）を設ける
- ごみ置場（約5㎡）を保育所と職業安定施設に各1ヶ所ずつ設ける。
- 敷地内の通路に設けるスロープは、次のとおりとする。
幅は、内法を 1.5m 以上とする。
勾配は、1/12 以下とする。
- (1)～(5)の「その他の施設」は、床面積に算入しないものとする。

4. 所要室

下表の室は、すべて計画する。

部門	室名	床面積	特記事項
保育所部門	保育室	計約 378 ㎡	・2歳～5歳児までの保育室を計4室（約70㎡/1室）を設け、1室当り25人の幼児を受入れる。 ・幼児用ロッカー室を3歳児～5歳児室（約15.7㎡/1室）に設け幼児用ロッカーを配置する。 ・2歳児用のシャワー室を設ける。（約7.0㎡） ・幼児用のトイレを保育室2室につき1室で使用し、随時掃除が出来るよう掃除用具入れを設置する。（約17.5㎡/1室）トイレの出入りはロッカー室を経由してよい。
	テラス	約 124 ㎡	・2歳～5歳児用とし、手洗い場、下駄箱を設置する。
	0歳～1歳児保育室	約 98 ㎡	・0歳～1歳児までを合計15人受入れ、1室で保育する。 ・産休明け用に4つのベビーベッドを計画し、透明のパーテーションで区画する。
	外気浴テラス	約 39 ㎡	・0歳～1歳児用の外気浴スペースを設ける。
	調乳室 調理室	計約 24.5 ㎡	・0歳～1歳児保育室から直接出入り出来るよう保育室に隣接して設ける。また保育室を常に観察できるように配慮する。 ・調理室に調理事務室と専用トイレを計画する。
	沐浴室	約 15.7 ㎡	・0歳～1歳児保育室から直接出入り出来るよう保育室に隣接して設ける。 ・幼児用トイレ、沐浴槽、洗濯機を計画する。
	遊戯室	約 192.5 ㎡	・2歳～5歳児までが主に使用するものとし、ステージを計画する。
	事務職員室	計約 49 ㎡	・来館者の受付を兼ねる。また医務室(5㎡)を設置する。
	幼児受入れスペース	計約 49 ㎡	・0歳～1歳児を保護者から預かるスペース、検温スペースとして5人掛けのベンチを計画する。
	玄関・ホール 廊下	計約 102 ㎡	・ホール及び廊下はトップライトを計画する。
教材倉庫	約 15.8 ㎡		
便所	計約 29.5 ㎡	・職員用及び保護者用の男女トイレを（2室で24.5㎡）設ける。 ・車いす使用便所を設ける。	
職業安定施設部門	在宅ワーク求人情報室	約 122.5 ㎡	・1階に設け、来館者の受付も行う。 ・職員と利用者をカウンターで区切る計画とする。
	求人企業センター	約 147 ㎡	・職員と利用者をカウンターで区切る計画とする。
	人材登録室	約 73.5 ㎡	・職員と利用者をカウンターで区切る計画とする。
	就職相談室	約 73.5 ㎡	・相談者2名に対応出来るものとする。 ・ベビーベッドを2ヶ所に計画する。
	会議室	計約 98 ㎡	・物入れ8.4㎡を設ける。
	休憩室	約 32.4 ㎡	・職員の休憩用とし、畳敷きとする。 ・押入れを適宜計画する。
	ロッカー室	計約 24.5 ㎡	・職員の男性用、女性用として2室（約12.2㎡/1室）を設ける。
	湯沸し室	約 5.4 ㎡	
	便所	約 73.5 ㎡	・1階24.5㎡、2階49㎡とする。 ・各々車いす使用便所を設ける。
	玄関ホール	約 166.4 ㎡	・風除室、EVホールを含む。 ・自販機コーナーと来館者の休憩スペースを計画する。
2F ロビー廊下	約 208.7 ㎡	・ロビー(49㎡)に求人企業展示コーナーと自販機。 ・廊下、EVホール(計159.7㎡)	
階段・倉庫 他	約 150.6 ㎡	・階段(計105㎡)EV(計18㎡)1F倉庫(6.6㎡) ・PS・DS(21㎡)	
その他	電気・機械室	約 217 ㎡	・地下1階に設け、ドライエリアを付設する。

(注1) 上記の床面積の合計（地階を除く。）は、2293㎡となる。

本試験では「適宜部分の面積」を除いた面積になり約1800㎡となる。

要求図面等

設計製図答案用紙の定められた枠内（寸法線は枠外でもよい。）に、黒鉛筆を用いて記入する。

下表により所定の図面を作成し（フリーハンドでもよい）、必要な事項を記入する。

図面及び縮尺	特記事項
(1) 1階平面図 兼 配置図 1/200	建築物の主要寸法（柱割り及び床面積の計算に必要な程度）を記入する。 室名筆を記入する。 ダクトスペース、パイプシャフトの位置を図示し、それぞれDS、PSと記入する 1階平面図兼配置図には、次のものを図示する。 イ．断面図の切断位置 ロ．建築物の出入口 ハ．地階部分の位置（点線で図示し、床面積を記入する。） ニ．ドライエリアの位置 ホ．駐車場（台数及び出入口を明示する。） ヘ．駐輪場（台数を明示する。） ト．ごみ置場 チ．通路・植栽等 各保育室、テラス、遊戯室、事務職員室、幼児受入れスペース、在宅ワーク求人情報室、雇用登録センター、人材登録センター、就職相談室、会議室の床面積を記入する。
(2) 2階平面図 1/200	2階平面図には、それぞれ直下階の屋根（ある場合のみ）を図示する。
(3) 断面図 1/200	切断位置は、保育所部門と職業安定施設部門を含み、建築物の立体構成（1～2階）及び屋根形状がわかる断面とする。なお、地下1階は記入しなくてよい。 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高、主要な室名を記入する。 はり及びスラブの断面を図示する。

2. 面積表

1～2階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。